

授業科目 評価学演習

【担当教員名】 小 林 量 作		対象学年	2	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	60（15）
【概要・一般目標：GIO】 1. 後期前半で学習した日常生活活動（ADL）の知識を基に、動作方法、介助方法、機器・用具の使い方を体験し習得している。 2. 呈示された事例についてADLプログラムを立案できる。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. ADLの聴取法を習得している。 2. 動作の指導方法を習得している。 3. 歩行、階段昇降、歩行補助具の使い方を習得している。 4. 移乗動作介助法を習得している。 5. 車いす操作法、介助法を習得している。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ADL聴取の実際			1	小林
2	ポジショニング、臥位移動、床上移動			2	小林
3	ギャッジ座位、傾斜台立位			2	小林
4	寝返り、起座			2	小林
5	起立（椅子から、床から）、歩行			3	小林
6	杖歩行、階段昇降：杖歩行、歩行様式、階段昇降様式）（1本杖、松葉杖など）			3	小林
7	移乗動作：移乗動作の介助			4	小林
8	車いす操作・介助：車いす操作、車いす駆動・介助			5	小林
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		日常生活活動学・生活環境学	鶴見隆正 編	医学書院	2005
参考書		日常生活活動（動作）－評価と訓練の実際－	土田弘吉 編 他	医歯薬出版	1992
		日常生活活動（ADL）	橋本 隆 編 他	神陵文庫	1998
その他の資料		授業毎に資料配付			
【評価方法】 出席、実技テスト、期末試験			【履修上の留意点】 毎回、実技できる服装で出席すること。		